

◎山下浩雅観光文化スポーツ部長

小川議員の特徴ある防災の事例という再質問にお答えをいたします。

当時ユネスコ本部の防災課におられました安川さんのことだと存じますが、その後白山市に二度来ていただきまして、我々と意見交換をいたしました。

その中で幾つか出てまいりましたのは、ちょうど白山火山防災計画の策定の時期でありましたけれども、地元の白峰小学校では、大学と連携をしながら火山や噴火の実験から学び、子供たちから融雪型火山泥流という専門用語が出ておりましたけれども、驚きました。そして、地元の防災訓練を実施するなど、特色的な教育活動がまず一つありました。それから、氾濫を起こす暴れ川、手取川の象徴であります、点在している島集落の話も挙がりました。それから、白山ろく地域の山間地で発達しました出作りと呼ばれる焼き畑農業方式、この出作りというのは、地滑りによって生まれた比較的緩やかな場所に立地されるものですが、そういった地滑りによって起こったところに、そうした伝統的な農業方式が起こっていること。もう一つ加えるならば、トチノキの話も出ました。トチノキは土石流によって、言わば荒れた川や谷の沿いに生育されるトチノキでありますけれども、今やそちらの土地がトチノ実を採取し、生活の一部でなくて、その地域の代表的な産物になっている。こういったことを安川さんは注目をされて、ジオパークとしては、いろいろな冊子の中で取り上げたり、それから情報発信するなりしてきたところがございます。

以上です。